

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来 西尾			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日 ~ 2025年 9月 18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日 ~ 2025年 9月 18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化や視覚支援を重点的に行うことで、お子さまにとって、分かりやすく主体的に取り組む環境になっている。	・活動に合わせた空間づくりや状況に合わせて臨機応変に部屋の使い分けを行うことで、限られた空間の中でも落ち着ける、集中出来る環境となるよう配慮している。 ・個人の絵カードやホワイトボードを使って、視覚からも理解を促すことで主体的に取り組めるよう配慮している。 ・お子さまに声かける際は言葉だけでなくマカトンサインや実物で示し、また細分化して伝えることを意識している。	・丁寧なアセスメントと職員間の情報共有を密に行なうことで、お子さまの発達段階を適切に捉え、統一した支援を行っていく。
2	日常の活動やイベントなど、お子さまが楽しく参加できるような活動を企画している。	・お子さまの発達や特性、興味関心に合わせて、楽しめる活動をきかくしている。 ・土曜日や長期休などには、社会経験を積む活動を企画し社会性を育めるようにしている。	・発達支援の視点と将来身につけておきたい社会的なスキルという視点を持って、より充実した活動を企画していく。
3	お子様の様子についての共有や悩み・困りごとに寄り添って支援する事で、安心感を持って通所していただくことが出来る。	・送迎時や定期面談以外にも、日常により保護者様とのコミュニケーションを大切にしていける事で、話しやすい・相談しやすい環境を整えている。 ・対面や電話の他にも、保護者メールにおいても相談支援や様子の共有を行っている。 ・提供記録においても、様子が伝わるように記入し、複数で確認を行っている。	・継続していく事で、良好な関係を気づき、家庭含めて支援できるようにする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた事業所は達成できていない。	・事業所内の支援を適切なものにすることに注力しており、外部とのつながりまで行き届かなかった。	・同グループの共同開催などのイベントをつ検討できるように相談する。 ・地区長様や町内会長様と連携を回り、地域の行事に参加できるよう検討する。
2	保護者様や外部向けの情報共有、勉強会などの発信が出来ていない。	事業所全体の取り組みを発信することが出来なかった。	・保護者様向けの企画・研修を企画できるよう検討する。 ・事業所の様子を伝えられ通信やオンラインでの情報発信を検討する。
3	非常時などに対する取り組みや周知が出来ていない。	火災、自身、水害に対する避難訓練や救急対応、不審者対応などの内容が周知出来ていない。 お子さまと一緒に参加する避難訓練が少ない。	・BCP訓練、安全計画の作成、発信をする。 ・定期的な訓練についての実施報告やお子さまが参加する訓練を設ける。